

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和 5年 2月 1日

保護者アンケート回収率93.33% / 下記の保護者評価は回収分での占める割合

事業所名: おおくぼ児童デイサービス モッピー

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指導訓練室のスペースも基準以上のスペースがあり、指導訓練室以外にも部屋があるので臨機応変に対応している。	はい: 85.71% どちらともいえない: 7.14% いいえ: 0.00% わからない: 7.14%	現状を維持できるよう努めていく。
	2 職員の適切な配置	正規職員及びパートタイムの雇用をおこない基準人員を下回らない配置を適正に行っている。	はい: 92.86% どちらともいえない: 7.14% いいえ: 0.00% わからない: 0.00%	現状を維持できるよう努めていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	入り口からバリアフリーになってはいるが、車いす等身体障害者への対応は難しい。都度、必要な設備に関しては利用者に応じて購入検討を行っている。	はい: 85.71% どちらともいえない: 7.14% いいえ: 0.00% わからない: 7.14%	今後も都度、必要な設備に関しては利用者に応じて購入検討を行っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の掃除と使ったおもちゃ等の消毒は行っている。	はい: 92.86% どちらともいえない: 7.14% いいえ: 0.00% わからない: 0.00%	現状を維持できるよう努めていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の気付きや利用児童に関わる事については記録として残している。	/	記録をもとに見直しを行ったり、行事や運営面にかかる業務についても組織的に取り組む体制を作っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現状実施なし。	/	状況に応じて実施を検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	多くはない、オンラインセミナーでの受講を行っている。	/	オンラインセミナーを活用しながら、研修案内を周知しながら、受けられる体制を整備する。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者に記入してもらったものと聞き取りをしたものを合わせてデータ化している。それらの資料と各職員の日々の記録を基に会議での検討により、作成している。	【設問1(保護者アンケート設問5より)】 はい: 92.86% どちらともいえない: 7.14% いいえ: 0.00% わからない: 0.00%	現状を維持できるよう努めていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	日常生活目標、個別活動目標、集団活動目標をそれぞれの実態に合わせて設定している。また集団での活動を盛り込みながら、個別での制作などの活動も取り入れている。	【設問3(保護者アンケート設問6より)】	現状を維持できるよう努めていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々のケースに応じて設定している。	はい:92.86% どちらともいえない:7.14% いいえ:0.00% わからない:0.00%	現状を維持できるよう努めていく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	その日利用する児童に合わせて必要なレクを取り入れるようにしている。	(保護者アンケート設問7より) はい:85.71% どちらともいえない:7.14% いいえ:0.00% わからない:7.14%	現状を維持できるよう努めていく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	その日の利用する子どもたちにあった活動内容を職員全員で考えるようにしているが、活動内容によっては立案者に任せる時もある。実際の活動の説明時等で職員がフォローに入れるようにはしている。		その時の児童に都度適した内容を検討をしている。今後は活動内容もグループ全体での検討を進め、計画や準備を行っていくように体制を整備する。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	利用時間に応じて季節毎の対応を行ったり、休日等には普段はできない外出や外遊び等を実施している。	(保護者アンケート設問8より) はい:85.71% どちらともいえない:7.14% いいえ:0.00% わからない:7.14%	現状を維持できるよう努めていく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもたちの様子や利用者数を見ながら活動の内容を調整している。また、固定化する事で成長できる場合もある。同じプログラムを行う際には変化を付けたり、到達度に応じて適宜課題、レベルを変更している。		現状を維持できるよう努めていく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	送迎や施設に残り準備を行う職員など配置を事前に決めている。		都度、支援開始・終了時の合間でチームとしての話し合いはおこなっているが、今後は定期的な打ち合わせの時間を設けて確認するように体制を整備する。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日のでき事を職員間で話し合っている。		都度、支援開始・終了時の合間でチームとしての話し合いはおこなっているが、今後は定期的な打ち合わせの時間を設けて確認するように体制を整備する。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	目標に沿った記録を残すようにしている。月ごとの様子のまとめも記入している。支援で気になった事はその都度話し合っている。		個人的な毎日の振り返りからの検証・改善はしているのでそれを職員に伝える時間を持つようにしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	適宜行っている。		現状を維持しながら改善すべきことがあれば改善を図る。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	今の所そのような機会がない。		関係機関と連携を取りながら機会があれば参画する。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	非該当		対象者が来た場合は可能な範囲で検討対応を行う。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	非該当		対象者が来た場合は可能な範囲で検討対応を行う。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	今の所、該当者がいない		対象者が出た際にスムーズに関係機関と連携が取れるように準備を進める。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	該当者がいない		対象者が出た際にスムーズに関係機関と連携が取れるように準備を進める。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	現状としてはできていない。		連携を取りながら機会があれば受講を検討する。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童クラブ等大人数での交流はできていない。地域の子供が遊びに来る程度の交流を行っている。	(保護者アンケート設問9より) はい:28.57% どちらともいえない:14.29% いいえ:14.29% わからない:42.86%	社会情勢や要望などを把握しながら必要に応じて実施の検討を行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	大人数での交流はできていない。地域の子供が遊びに来る程度の交流を行っている。		社会情勢や要望などを把握しながら必要に応じて実施の検討を行う。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学や契約の際に書面による説明している。変更が生じた場合はその都度説明している。質問等があれば連絡を取り話を行う体制をとっている。	はい:92.86% どちらともいえない:7.14% いいえ:0.00% わからない:0.00%	今後はサービスを始めて使う方については、請求が確定後に改めて費用等の説明の機会を設ける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者と日時の調整をして対面して書面を見ながら計画説明をおこなっている。	はい:92.86% どちらともいえない:7.14% いいえ:0.00% わからない:0.00%	現状を維持できるよう努めていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	希望家庭には家庭訪問や事業所内相談を実施して情報共有をしながら可能な支援やアドバイスをする機会を設けている	はい:57.14% どちらともいえない:21.43% いいえ:7.14% わからない:14.29%	要望が出た時には対応できるように体制等の準備を整える。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎や受け入れ、帰宅の対応をした際は、様子の伝達や、聞き取りを実施している。事業所と保護者の共有できるシステムを活用して連絡を密にしている。	はい:78.57% どちらともいえない:14.29% いいえ:0.00% わからない:7.14%	現状を維持できるよう努めていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	事業者側からの声かけを含め日ごろから電話やシステムを活用して連絡を取り、相談に対して対応をしている。また、利用中等で気になる様子があれば声をかけるなどの対応をしている。	はい:78.57% どちらともいえない:14.29% いいえ:0.00% わからない:7.14%	現状を維持できるよう努めていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現状としてはできていない。	はい:0.00% どちらともいえない:21.43% いいえ:42.86% わからない:35.71%	ニーズ等を把握して対応を検討していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	体制については契約時に説明をしている。保護者からの苦情に対しては、電話や送迎の際に時間を取り話すなど迅速に対応し話すようにしている。また話した内容は職員間で報告をしている。	はい:50.00% どちらともいえない:14.29% いいえ:0.00% わからない:35.71% 苦情を申し立てた事がないのでわからない	現状を維持できるよう努めていく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵カードやサインの活用をしている。日常の関わりの中で言葉やコミュニケーション面の支援も行っている。保護者についてはシステムを活用している。文面では難しい場合は電話で話したり送迎時に対面して話したりしている。	はい:92.86% どちらともいえない:7.14% いいえ:0.00% わからない:0.00%	現状を維持できるよう努めていく。タブレット等を活用しながら多言語への対応も進めて行く。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	現状としてはできていない。	はい:50.00% どちらともいえない:28.57% いいえ:7.14% わからない:14.29%	活動の様子を写真データで定期的に発信したり、年間活動計画を作成した上で事前に案内をできるように計画の立案や整備を進める。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報取り扱いに関するセキュアについてはハード面・ソフト面で対応を行っている。また取り扱いについては契約時に書面で確認、同意を得ている。	はい:92.86% どちらともいえない:7.14%	現状を維持できるよう努めていく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	保護者への周知はできていない。	はい:78.57% どちらともいえない:7.14% いいえ:0.00% わからない:14.29%	BCPの作成を進めているので、作成でき次第各種マニュアルと一緒に配布等して周知をしていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回以上実施できるように計画、実施している。	はい:64.29% どちらともいえない:14.29% いいえ:0.00% わからない:21.43%	様々な想定での訓練を実施しながら継続的に取り組んでいく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員に研修案内を基に適宜受講している。		継続して研修はが受けられるように体制を保ちつつ制度上必要な体制が保てるよう体制を整備していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	シートベルトロックなど必要性に応じて保護者と話し合いを行っている。方法などについては必要に応じて写真等を活用しながら、説明を行って対応している。		現状を維持できるよう努めていく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に全児童に対して調査をしている。必要がある場合は保護者から医師の指示書をいただき全職員で共有できるように個別写真へ情報を付加している。指定されているおやつ以外の物を提供しないように配慮している。		現状を維持できるよう努めていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	小さな事でも書き留められ、確認できるようにノートを活動時の居室に置いておくようにする 事例があれば早急に作成をし、情報の共有と再発防止策の検討を早期に実施するように努めている。		現状を維持できるよう努めていく。